



NGO仙台テンメイニュース

2008年春号

第3号 2008年4月25日発行

発行：NGO仙台テンメイ事務局 仙台市青葉区中山6-6-45 TEL&FAX022-279-1024

近況報告

副代表 荒川雄一

新緑の頃となりました。皆様いかがお過ごしでしたでしょうか。

さて、NGO仙台テンメイはお蔭様で二年目を迎えることができました。現在会員数は五十九名となりましたが、今年度は一〇〇名の大台を目標に取り組んで参ります。また活動の方も一段と活発化しております。今後会員の皆様に目に見える形で、農業や里づくりの様子を報告できるのではないかと考えております。

先頃、東京で行なわれたNGOグループの本部であるグリーンガイアの総会に、大久保代表（グリーンガイアの理事長もされている）と共に私も出席しました。席上、木内代表は挨拶の中で太陽炉の特許が取得できたこと、沖繩の宮古島における太陽炉建設に着手できる目途がついたこと、そして「ようやく私達の出番がやってきました。これからは楽しみです」とお話しになりました。また、各地のNGOの様子について、新潟の富井さんのところでの「たいちくん」と「炭」を使用した米づくりや仙台テンメイの里づくり構想、海外における活動等についての紹介がありました。

最後に、NGO仙台テンメイの今後の方向ですが、農業の方では今年度、野菜づくりの本格化に伴い、会員の皆様に生体エネルギープログラム農法により生産された安全で美味しく元気がでる野菜をお届けするための仕組みをつくって参ります。また里づくりの方では仙台市近郊の本砂金に拠点としての建物を今年度中に完成させたいと思っておりますので会員の皆様には更なるご支援ご協力をお願い致します。



通常総会にて大久保代表の挨拶

第二回通常総会報告

理事 佐藤真美枝

二〇〇八年四月十二日（土）十四時より宮城県歯科医師会館地下ホールにて「NGO仙台テンメイ第二回通常総会」が開催されました。現在会員総数五十九名ですが出席者数一九名・委任状三十一名により総会は成立し、若干名理事・監事の退任で入れ代わりがありました。二〇〇七年度事業報告及び収支決算・二〇〇八年度事業計画及び収支予算書の全てをご承認頂き、会員の皆様のご協力のもと無事終えることが出来ました。ありがとうございます。心より感謝し、御礼申し上げます。また、総会に先立ち大久保代表より以下の挨拶がありました。

二〇〇七年度三月三日に発足し、九月九日設立総会開催後、毎月理事会とメンバーミーティングを行い、順調に活動を進めて参りました。今後は、畑の耕作面積を1000㎡から1200㎡に拡大し皆様に生体エネルギーの高い、安全で美味しい作物を販売提供していく準備を着々と進め、又里づくりの方も仙台市近郊の川崎町本砂金の山間地を調査・視察・交渉と着実に計画が進んでおります。

さらにご支援ご協力の程宜しくお願い致します。

研修会に参加しての所感
理事 中塚 FISHIN

総会終了後に2つのテーマで研修会が開催されました。

① 『木の花ファミリーの実践視察報告』

報告 大平 仁（農業担当理事）

木の花ファミリーは静岡富士宮市で十三年前から木の花農園を始め、現在十五世帯四十二名で十三ヘクタールの耕地で無農薬有機栽培で自給自足の生活をし、宅配、農産物加工を手掛けています。NPO法人ではグループホーム等、営利事業では自然食レストランやその他事業を展開しています。共同体活動を実り豊かに成功させている組織です。

今年三月二十一日に大久保代表以下NGO仙台テンメイメンバー9名が参加しました。「土を耕すのではなく心を耕す」「ミーティングを一度も欠かした事がない」「リーダーのイサドンのお話が強く印象に残りました。十月には木内鶴彦さんと一緒に木の花ファミリーを訪ねることを企画中との事です。お楽しみに♪



木の花ファミリー視察



木の花ファミリーでの食事風景・コンサート



富井代表講演



② 『循環型社会
自立ネットワーク活動』

講師 富井富士子（NGO光命代表）

NGO光命（コメ）は新潟県十日町市で二〇〇五年十月に設立され、「自然の摂理を回復させ、循環型社会を平和的に楽しく構築するための活動を行う」ことを目的として活動しています。昨年、木内鶴彦氏の指導を頂き、未来米「光命」の生産を開始し、今年から「未来づくり」ネットワークをスタートさせ、生態系を取り戻す産業ビジネスを起業させる実験をしています。人・もの・お金の循環。地球人の役割を感じる循環。持続可能な社会構築へ先進活動を展開中です。

十日町市のこの信濃川周辺は火災型の縄文土器がたくさん出土しているらしいです。一説によると9000年前の遺跡であるとか・・・。
「田んぼにはだして入ると気持ちいいよ」
「楽しんでいると人が集まる」
と富井さん。きっと富井さんの素敵な笑顔に人が集まってるんだらうなあと思いました。

「里づくりプロジェクト」

リーダー 荒川雄一

今年3月に約十億円規模の里づくり事業計画書をNGOグループの本部であるグリーンガイアに提出しました。

事業計画は地域コミュニティ（里）内でお金の要らない社会実験を行うことです。概要は地域（里）内に拠点としての「コミュニティセントラルハウス」を建設します。みんなが集まれる場所でもあります。この拠点が中心となり地域内農業の再生や各種事業を行います。またこの地域への移住を容易にし地産地消による自給自足を推進していきます。そして労働に対する報酬の支払は地域通貨（円に交換可）で行います。実験が進むに従い地域通貨は電子マネーに変わり、やがてそれも必要なくなりお金の要らない地域（社会）が出来ることとなります。

さて社会実験を行う川崎町本砂金地区内に予定していたセントラルコミュニティハウスを建設する土地（約500坪、斜面あり）が決まりました。この土地を10数名の方に、NGO仙台テンメイ総会（4月12日）の翌日見ていただいたのですが、その中のお一人であるNGO光命（こめ）の代表者で、一級建築士の富井富士子さんより

2日後にイメージされた建物と敷地利用のスケッチが届きました。素晴らしい内容のものでした。V字形と扇と要を感じたイメージにより、要のところの仮称「センター棟」のところは2Fがセミナーホール、1Fピロティ内に販売所、受付、市、B1Fは倉庫（貯蔵庫）です。ピロティを通過して広場に出ることが出来ます。センター棟の右側の仮称「右ライン棟」と左側の仮称「左ライン棟」にそれぞれ宿泊、研修室、談話室、浴室等が配置されています。



建設予定地内下斜面より撮影



町道より建設予定地を撮影

今後この建物のプランを基に計画を練り、計画書を理事会に提出し決定されれば実行に移していきます。

これまで里づくりプロジェクトメンバーは本砂金地区管轄の川崎町役場、川崎町農業委員会、大河原法務局、宮城県農業会議に数回、本砂金に何度となく訪れ、関係者と面談し情報収集に努めてまいりました。年内に拠点づくりができればと思っております。

「農業プロジェクト」

リーダー 大平 仁

テンメイ農場本番スタート!

仙台テンメイの名取農場本格的にスタートです。3月29日と4月1日の2日間で約600㎡の畑の表面を約10cm位削り取り、70〜90cmの深さに掘り込んだ底に埋め込む天地換え作業を行いました。4月6日には、この畑に計算した量の生体エネルギー応用の肥料及び資材を投入し、トラクターで攪拌耕運作業をし、素晴らしいエネルギー溢れる土作りをしました。約30mの畝17本作り、さらに3区画に分け、大根、人参、枝豆、トウモロコシ、コカブ、チンゲン菜、ジャガイモ、さといも、トマト、ナス、キュウリ、ピーマンなど24種類40品種を作付けします。すでに種及び種芋は購入し、苗は定植時期に合わせて届くように注文しました。準備完了、あとは順次畝たてしながら種蒔き、植え付けをしていきます。いろいろな野菜を作りますので、楽しい農作業になります。畑にいただけで気分爽快になるのが不思議です。お手伝いお待ちしております。



天地換え作業中



天地換え完了

農作業予定表

生体システムのエネルギー満ち溢れる畑で、農作業を楽しみましょう!

5月3日(土)

5月4日(日)

5月9日(金)

5月10日(土)

5月14日(水)

5月15日(木)

5月21日(水)

5月23日(金)

5月28日(水)

5月29日(木)

6月2日(月)

6月3日(火)

6月8日(日)

【作業時間】

AM9:00~12:00

【連絡先】

農業プロジェクトリーダー
大平(おおだいら)まで

【携帯電話】

080-3196-7656



仙台テンメイメンバーミーティング日程

月例の打ち合わせ会、交流会を開催しますので縁ある皆様の参加をお待ちしております。

【開催日】2008年5月22日(木) 19時~

【場所】仙台天命塾サロン 仙台市青葉区本町3-2-26 コンヤスビル505号室

【会費】2,000円(お弁当、ビール代等含む)

【内容】・NGO仙台テンメイの状況報告

・総会及び行事報告、今後の行事実施打ち合わせ

・その他

・5月誕生会

【申し込み問い合わせ】仙台天命塾事務局 大久保直政 まで

TEL&FAX 022-279-1024 090-8786-7300 E-mail ddn8451a@ddn.ne.jp

食事等の用意がありますので5月21日(水)までに申し込みお願いします。